

# 議 会 報 告 第 3 4 号

(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951



市議会議員 小島 信一

明政会

## 9 月定例会より 報告 (令和元年第 3 回定例会)

令和年 10 月 5 日発行

### —30 年度決算は まだら模様—



- 税収は 1.4 億円増加
- 実質単年度収支が 12 億円の赤字
- 経常収支比率が 3.1 ポイント悪化

#### 一般会計 (カッコ内は 29 年度の数字)

歳入	歳出	実質単年度収支
457 億円 (432 億円)	439 億円 (407 億円)	△12 億 2 千万円 (1 億 7 千万円)

\*\*\*\*\*

#### 歳入で主なもの

地方税	150 億円 (149 億円)	市民税等
地方交付税	70 億円 (75 億円)	国からの交付金
地方消費税	19 億円 (17 億円)	消費税地方分
繰入金	11 億円 (8 億円)	基金の取り崩し
地方債	64 億円 (37 億円)	借入金

#### 歳出でおもなもの・・・性質別

扶助費	86 億円 (87 億円)	社会保障制度の諸施策
人件費	58 億円 (59 億円)	
公債費	44 億円 (47 億円)	借入金の返済金 (年額)
建設費	62 億円 (36 億円)	公共施設の建設費

\*\*\*\*\*

◎地方税収は安定している。

◎地方消費税交付金も安定した増加が見込める

◎人件費に不透明さが残る。

市民病院分の職員減があった割には削減幅が少ない。

◎実質単年度収支が赤字

連続するようだと財政運営に悪影響が出る。

◎経常収支比率が悪化 (96. 2)

財政構造に弾力性がない。



### —西部メディカルセンターの 30 年度決算—

注目の決算が報告されました。昨年 10 月から半年間

.....

#### 救急車受け入れ

- 計画 800 件
- 実績 1087 件 (24 時間 365 日、担当 2 名で対応)
- (3 次救急や近隣医療機関との連携あり)

#### 医師数 (常勤)

- 計画 30 人
- 実績 28 人

#### 看護師数

- 計画 153 人
- 実績 150 人

#### 収入

- 計画 23 億 8000 万円
- 実績 21 億 8000 万円

#### 純益

- 計画 △2 億 3000 万円
- 実績 △4 億 6000 万円 (赤字額は計画より 2 億 2000 万円多い。)

#### 市からの補助金 (運営事業補助金)

- 計画 6 億 100 万円
- 実績 6 億 100 万円

#### 人件費対医業収益 (人件費÷医業収益)

- 計画 91%
- 実績 104%

(医業収益より人件費の方が多いことを示す)

#### 経常収支比率 (全収益÷全費用)

- 計画 91%
- 実績 82%

(医業収益が計画より少なく赤字幅が増えた。経常収支比率は予想より低下した。)



—西部メディカルセンターの評価—

行政評価は「概ね計画通り」であった。目立つところでは、——

- ・救急車の受け入れはそれなりの実績があった。批判は市民の期待値が高いため。
- ・医業収益、純益が計画より低い。重要指標である人件費対医業収益、経常収支比率も計画より悪化。



とは言え、西部メディカルはまだ成長期。3年半の猶予をもって軌道に乗ることを計画している。性急な批判ではなく今後を期待したい。

◎スピカアセットMは1000万円の赤字

代表取締役専務、執行役員の報酬・給与を見直す必要があるのでは。またコンビ二部門の情報開示がなされていないことも問題

◎市の賠償金2000万円

公売の土地に大量の廃棄物が埋まっていた事案で買い受けた市民に対して筑西市は2千万円を賠償することになった。議会は筑西市に賠償責任があると認定。今後、庁内でどのように責任を取るのか。



◎幼保無償化

国主導であるが幼稚園、保育園認定こども園の利用料金が無償となった。そのための予算も通りました。

◎八丁台区画整理地の新名称

- 北部： 中館
- 中央： 八丁台
- 南部東：岡芹1丁目
- 南部西：岡芹2丁目



—定例会の話題—

◎道の駅「グランテラス筑西」は好調滑り出し

7月11日にオープンした道の駅は、大変好調。来場者数1日当たり約5800人

今後の課題

- イベント情報発信強化
- 営業時間の延長



一般質問

○道の駅について

小島質問：これまで道の駅に関する担当部署は土木部道の駅整備課であったが、オープン後はどこが所管するのか？

部長答弁：整備事業はまだ完了していない。しばらくは今のまま。今後は業務の推移を見て検討する。

小島質問：オープンから8月いっぱいにかけての入場者数、売上の状況は？

部長答弁：オープンから51日間で30万人の来場者があった。売り上げは企業情報なので公表はできないがどの売り場も予想を超えている。

小島質問：事前の説明に、飲食店の営業時間は夜9時までであった。他店との差別化にもなると理解したが実際には8時まで。フードコートは7時まで。何故か？

部長答弁：雇用人員の確保ができないこともあり計画の9時までの営業ができない。今後協議してまいりたい。

小島質問：道の駅の集客に欠かせないイベント開催も重要。しかし情報発信が不足。道の駅、市どちらが責任を持つのか

部長答弁：双方でしっかり発信する。

小島質問：今後の経営情報の開示方法は？

部長答弁：決算、利用状況について事前説明を行う。

○観光行政について

小島質問：筑西市総合計画では「交流人口の増加」を謳い、観光振興を行政の施策としている。しかし、実際には観光振興はイベント実行委員会に頼ることが多く、行政は裏方になっている。近年低調な下館盆踊りなど行政が主導する必要はないのか？

部長答弁：下館盆踊り大会は開催前に当年度の実施計画について行政も参加して協議します。その際新たな企画を提案することが可能です。

小島質問：これまでのイベントでは出場する観光大使は一人か二人。もっと積極的に派遣できないものか。

部長答弁：大使のほとんどが仕事を持っており活動の調整が付きにくい。

小島質問：大使は任命だけでは報酬はない。ならばもっと任命数を増やすべき。また、観光大使の派遣の手順はどうなっているのか。

部長答弁：イベント企画側が観光協会に派遣を申請、協会が内容を審査し大使に日程調整をした上で派遣する。費用は半日5000円、1日10000円。